

1 -1

0より大きい数, 小さい数

例題

1

- (1) 0°Cより5°C低い温度は何度ですか。
- (2) 0より5小さい数はいくつですか。



0より大きい数や量… 正の符号「+(プラス)」をつけて表す。
 0より小さい数や量… 負の符号「-(マイナス)」をつけて表す。



空所をうめよう

(1) 0°Cより5°C低い温度は, の符号を使って表せるから, °C

正? 負?

(2) 0より大きい数を の数,
 0より小さい数を の数という。

0より5小さい数は の数で, と表せる。

これもcheck!

整数	正 (自然数)	+1, +2, ...
	0	
	負	-1, -2, ...

☆0は正の数でも負の数でもない!

例題

2

- 東に1m進むことを「+1m」と表すことにします。
- 東に7.5m進むこと, 西に15m進むことは, それぞれどのように表せますか。

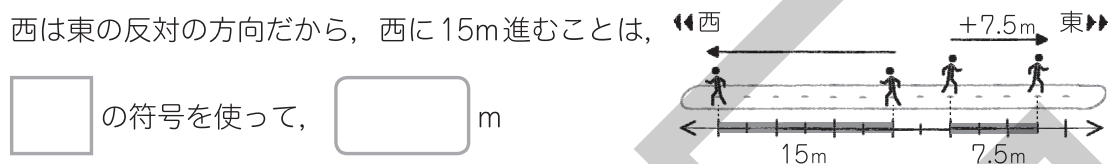


反対の性質を表す… 一方の性質を「+」で表すとき, もう一方は「-」で表せる。



空所をうめよう

東に7.5m進むことは, の符号を使って表せるから, m



例題

3

- 数学のテストの平均点70点を基準として, 75点を「+5点」と表すことにします。
- 「+6点», 「-2点」は, それぞれ何点を表していますか。



基準との差を表す… ある数や量が, 基準となる数や量とくらべて,
 大きいとき ⇒ 基準との差に「+」をつけて表せる。
 小さいとき ⇒ 基準との差に「-」をつけて表せる。



空所をうめよう

+6点は, 基準よりも高い点を表し, 基準との差は 点だから, 点

-2点は, 基準よりも 点を表し, 基準との差は 点だから, 点

学習の内容

0より大きい数を「正の数」、0より小さい数を「負の数」といいます。
正の数や負の数を使った数量の表し方を学習しましょう。

Q1 練習しよう

□(1) 次の温度を、+や-を使って表しましょう。

□① 0°Cより7°C高い温度

□② 0°Cより13°C低い温度

{ } { }

□(2) 次の数を、+や-を使って表しましょう。

□① 0より10大きい数

□② 0より1.5小さい数

{ } { }

HINT (2)② 0より小さい小数や分数も、整数と同じように負の符号をつけて表そう。

Q2 練習しよう

□(1) 午前10時から1分後の時刻を「+1分」と表すことにします。

次の時刻を、+や-を使って表しましょう。

□① 午前10時の5分後

□② 午前10時の30分前

{ } { }

☆□(2) 1000円の収入を「+1000円」と表すことにします。

次の①、②を、「収入」または「支出」ということばを使って表しましょう。

□① +500円

□② -1200円

{ } { }

HINT (2)② 「収入」を+で表すと、「支出」は-で表せることを利用しよう。

Q3 練習しよう

●海面の高さを基準として、海面の高さより1m高いことを「+1m」と表すことにします。

次の(1)、(2)を、+や-を使って表しましょう。

□(1) ある山の海面からの高さ330m

{ }

□(2) 太平洋で最も深いところの海面からの深さ10911m

{ }

1-2

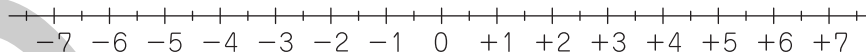
正の数・負の数と数直線

🔍 例題

4

下の数直線上に、次の数を表す点をかき入れましょう。

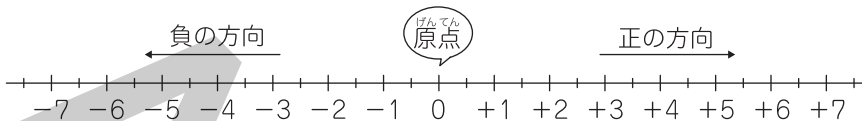
- (1) +3 (2) -5 (3) -1.5



POINT 数直線… 数をひとつの直線上の点で表すもの。0に対応する点を「原点」という。
原点よりも右側が正の数を、原点よりも左側が負の数を表す。



CHECK
空所をうめよう



- (1) 原点から の方向(右向き)に だけ離れた点をかき入れます。
- (2) 原点から の方向(左向き)に だけ離れた点をかき入れます。
- (3) 原点から の方向に だけ離れた点をかき入れます。

🔍 例題

5

+3, -5, -1.5 の絶対値をそれぞれ答えましょう。



POINT 絶対値… 数直線上で、その数を表す点と原点との距離。
0の絶対値は0。

これもcheck!
☆ 絶対値
正の数や負の数から
「+」「-」をとった値



CHECK
空所をうめよう

- 数直線上で、+3を表す点と原点との距離は だから、絶対値は
- 数直線上で、-5を表す点と原点との距離は だから、絶対値は
- 数直線上で、-1.5を表す点と原点との距離は だから、絶対値は

🔍 例題

6

+3, -5, -1.5 の大小関係を、不等号(>, <)を使って表しましょう。



POINT 数の大きさ… 数直線の正の方向にいくほど大きく、負の方向にいくほど小さい。
正の数… 絶対値が大きいほど、数の大きさも大きくなる。
負の数… 絶対値が大きいほど、数の大きさは小さくなる。



CHECK
空所をうめよう

- 🔍 例題 4の数直線を見てみよう!
- 数直線上で +3, -5, -1.5 を表す点は、左から , , と
- 並ぶから、大小関係を不等号を使って表すと、 < <

学習の内容

正の数と負の数は、どちらも数直線上の点で表すことができます。数直線上の点が「原点に対して左と右のどちら側にあるか」「原点からどれだけ離れているか」に注目して、数の大きさをくらべましょう。

Q4 練習しよう

□(1) 下の数直線上に、次の数を表す点をかき入れましょう。

□① +4

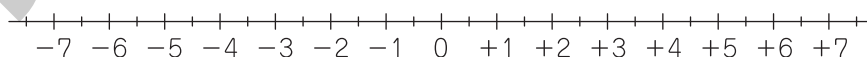
□② -3

□③ 0

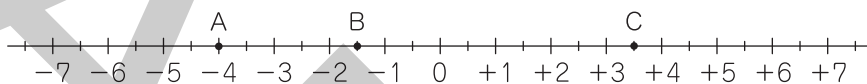
□④ +2.5

□⑤ -6.5

□⑥ -0.5



□(2) 次の数直線上の点A, B, Cが表す数をそれぞれ答えましょう。



A () B () C ()

Q5 練習しよう

□(1) 次の数の絶対値をそれぞれ答えましょう。

□① +4

□② -3.6

□③ $+\frac{1}{3}$

() () ()

☆□(2) 絶対値が3である数は2つあります。2つとも答えましょう。

(と)

☆□(3) 絶対値が3より大きく6より小さい整数を、すべて答えましょう。

()

HINT (2)(3) 正の数と負の数があることに気をつけよう。

Q6 練習しよう

□(1) 次の各組の数の大小関係を、不等号を使って表しましょう。

□① +4, -6

□② -3, 0, -0.5

() ()

□(2) +2, -3.5, 0, $-\frac{1}{2}$ の4つの数について、

□① もっとも小さい数を答えましょう。

()

□② 絶対値がもっとも小さい数を答えましょう。

()